

令和8年度 第2学年 家庭科 年間指導計画 予定年間授業時数： 35 時間

使用教科書： 開隆堂 「新しい技術・家庭 家庭分野」

使用副教材： リバーシブルトートバッグ

教科の学習目標：衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的、基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

<学習内容>

学期	学 習 単 元	学 習 内 容
1	D 身近な消費生活と環境 1 家庭生活と消費 2 商品の選択と購入 3 よりよい消費生活のために 4 環境に配慮した消費生活 「トートバッグ」の製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品を購入したり利用する時の情報の収集や活用の仕方を理解する。</li> <li>様々な販売方法と支払い方法が社会に存在することを知り、それぞれの長所・短所に気づく。</li> <li>中学生の消費者トラブルという身近な問題点を知り、よりよい消費生活への関心を高める。</li> <li>自らの行動を振り返り、消費生活と環境とのかかわりについて関心を持ち、理解を深める。</li> <li>環境に配慮した生活の中で使える物として、トートバッグを製作する。</li> </ul>
2	「トートバッグ」の製作のつづき B 食生活と自立 1 食品の選択と保存 3 日常食の調理をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した生活の中で使える物として、トートバッグを製作する。</li> <li>生鮮食品、加工食品それぞれの特徴を知ると同時に、食品の表示の意味を理解し、鮮度や表示を見て食品の選択、購入ができるようにする。</li> <li>肉・魚・野菜それぞれの特徴、調理上の性質、衛生的な扱い方などを知り、実践的に学ぶために自宅にて調理を行い、レポートを作成する。</li> </ul>
3	日常食の調理をしようのつづき C 住生活の自立 1 住まいのはたらき 2 健康で安全な住まい 3 住まいと地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>住居の基本的な機能や、安全に配慮した室内環境の整え方を知る。</li> <li>安全で快適な住まい方を考え、具体的に工夫できるようにする。</li> </ul>

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点（全体に対する割合）	観点の趣旨	評価資料
観点1（33%） 知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	プリント・ 実習作品 定期考査
観点2（33%） 思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている	プリント 振り返りカード 実習作品 レポート
観点3（33%） 主体的に学習に取り組む 態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	プリント、レポート チェックカード 振り返りカード 授業観察